

安全に作業するために

●必ずお読み下さい。

設置の前に必ずこの要領書をよくお読みいただき、記載の取付方法を守り、正しく設置して下さい。

■注意記号について

ご使用される人や他の人々への危害、財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次の様に説明しています。

内容をよくご理解されてから本文をお読み下さい。

 注意	使用者が障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性がある注意事項を説明しています。
	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

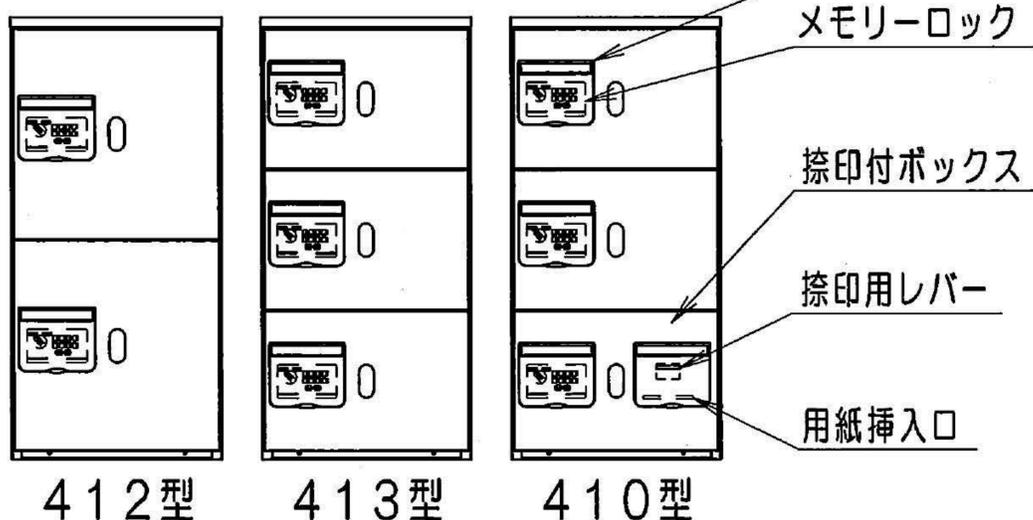
■設置業者の方へ

設置が完了できましたら、施主様又は管理会社等に取り扱い説明を行ってください。
この要領書と非常開錠キー及び暗証番号検索ピンは管理される方にお渡しください。

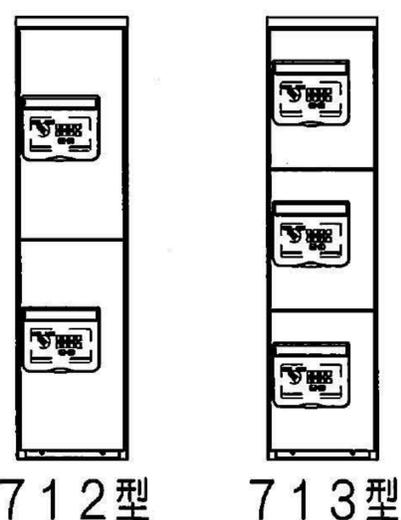
1. 設置にあたり

- 設置の際、床面より浮かして運んで下さい。（床面を傷付けない為）
- 半屋外で設置する場合は、軒下で雨が直接かからないよう注意して下さい。
- 設置依頼書でユニット・ボックスの組合わせパターンを確認して下さい。
- 付属品が全て揃っていることを確認して下さい。
- 転倒防止のため、本体は必ず壁面に付けて設置して下さい。

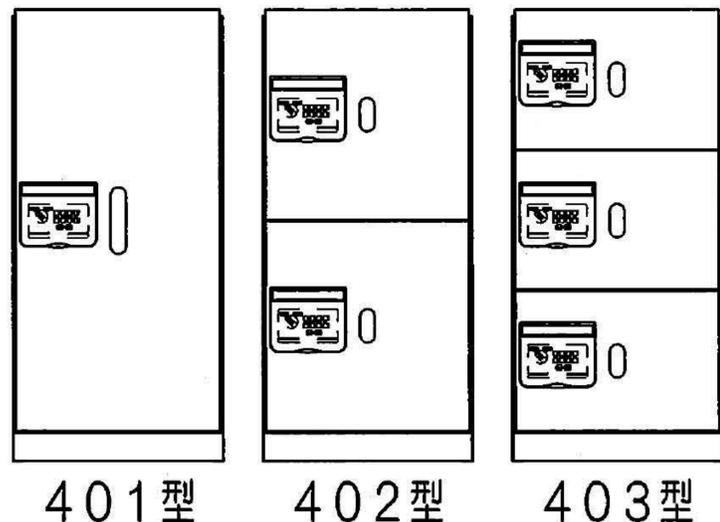
標準型 上段ボックス



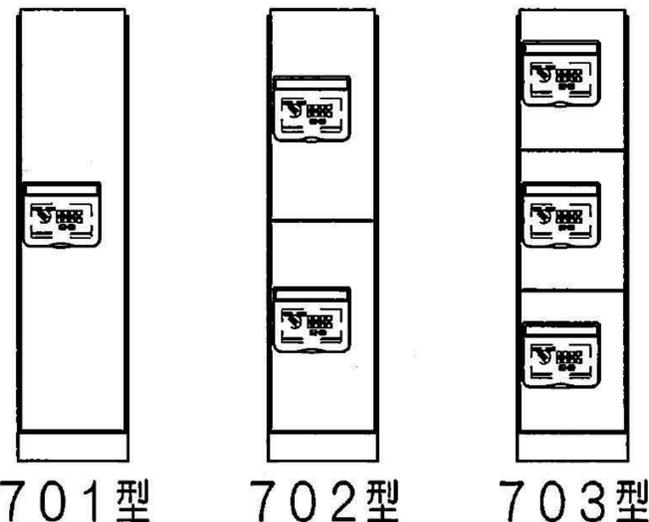
ハーフ型 上段ボックス



標準型 下段ボックス



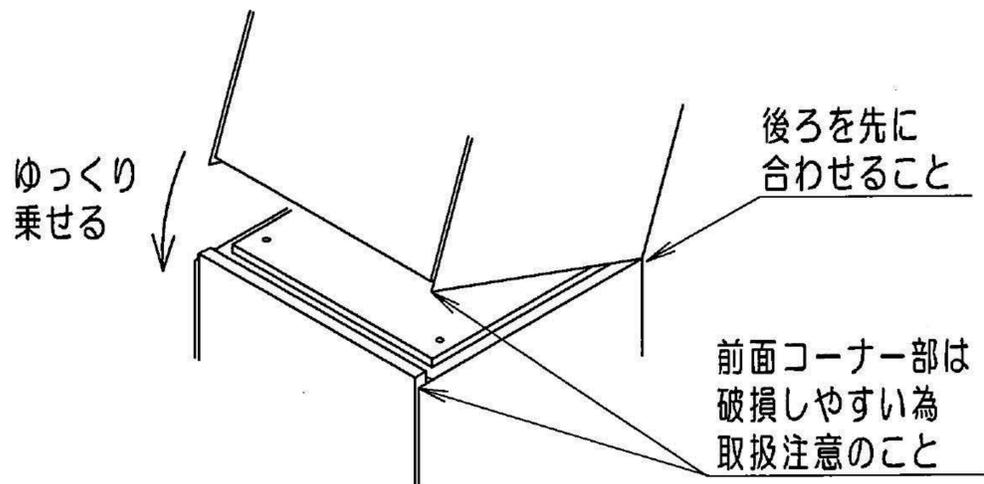
ハーフ型 下段ボックス



各々のタイプに付属する物	下段ボックスのみに付属する物	別梱包の付属品	
六角ナット 4個 左右連結用ボルト 4個 平座金 4個 ばね座金 4個	アジャスター押え金具 4個 上下連結用ボルト 4個	非常開錠キー 1個 暗証番号検索ピン 1個 Xスタンプ 1個	ナンバーラベル 2枚 取扱説明ラベル 1枚 取説・設置要領書 各1冊

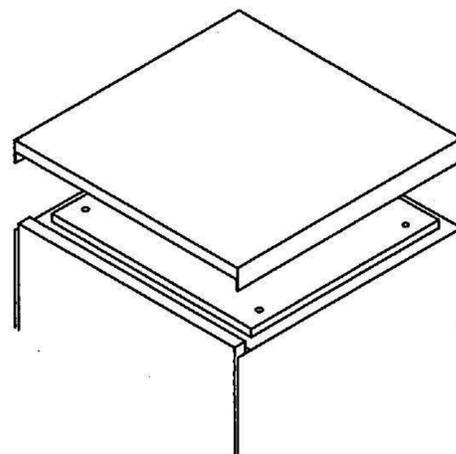
2. 設置のしかた

- ① 筐体が2段の場合は、下筐体に上筐体を乗せて下さい。

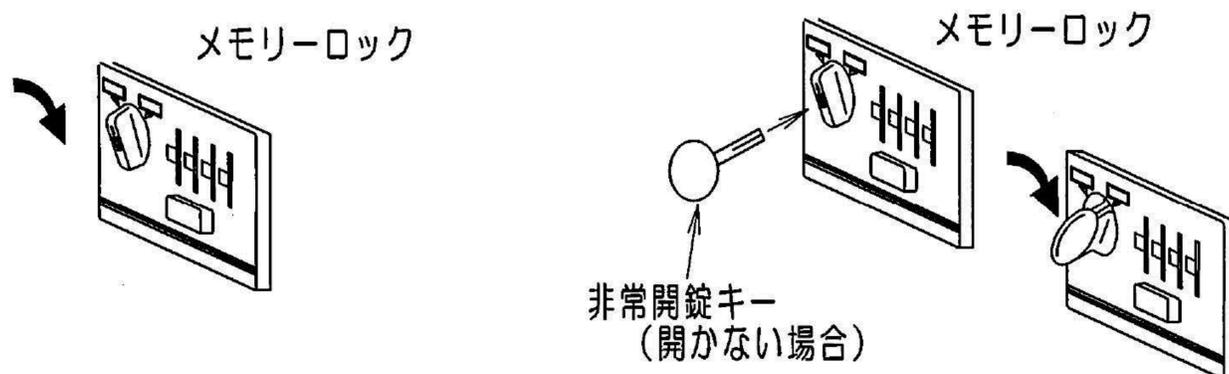


- ❗ 前面を当てないように、注意して後ろから乗せて下さい。

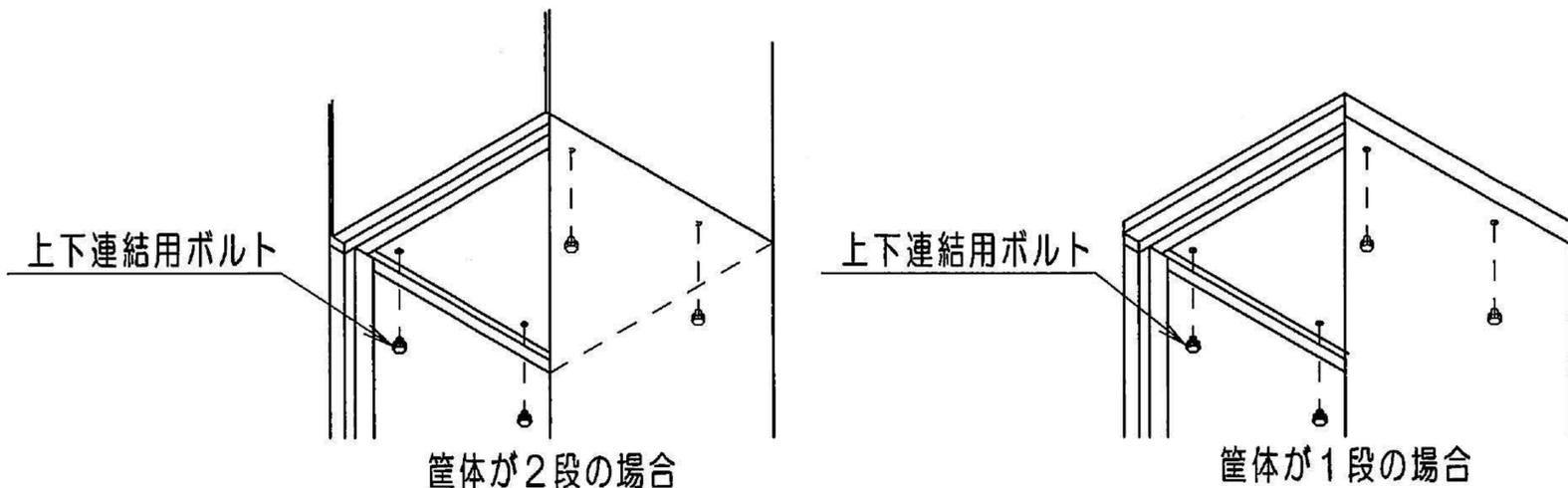
筐体が1段の場合はオプションの天板カバーを乗せて下さい。



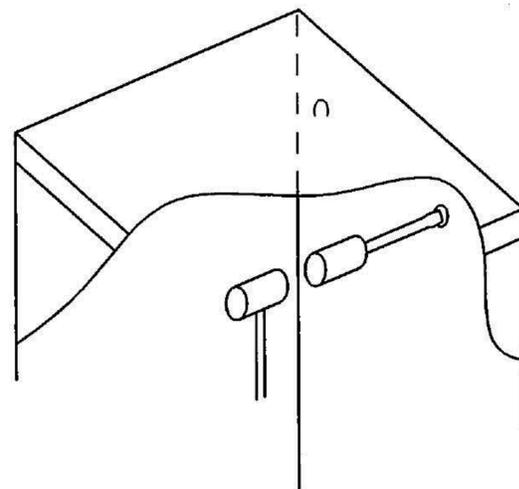
- ② 本体、最上段と最下段の扉の防滴カバーを開けメモリーロックのつまミを右に回し、それぞれの扉を開けて下さい。
もし、開かない場合は付属の「非常開錠キー」を使って開けて下さい。



- ③ 付属の上下連結用ボルトを使い、連結穴より上下連結して下さい。

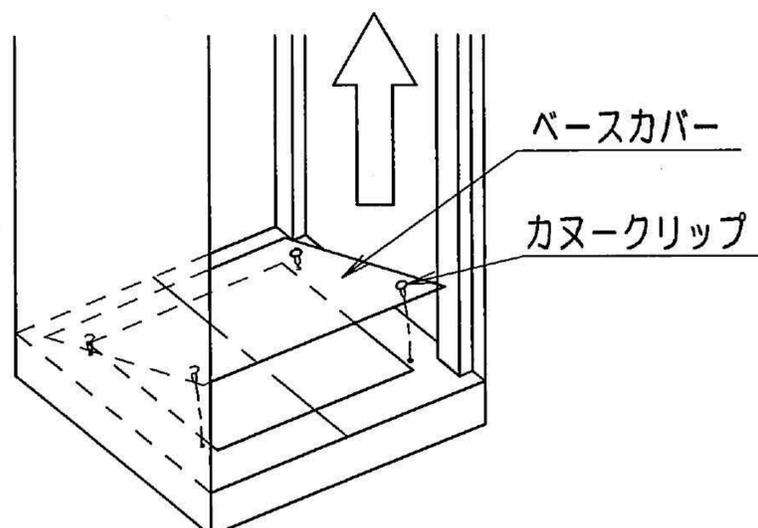


- ④ 背板のアンカー固定部や2列以上ある場合の左右の連結箇所のノックアウトをハンマーとドライバ等で開けてください。
開けた箇所はサビ止めを塗布して下さい。



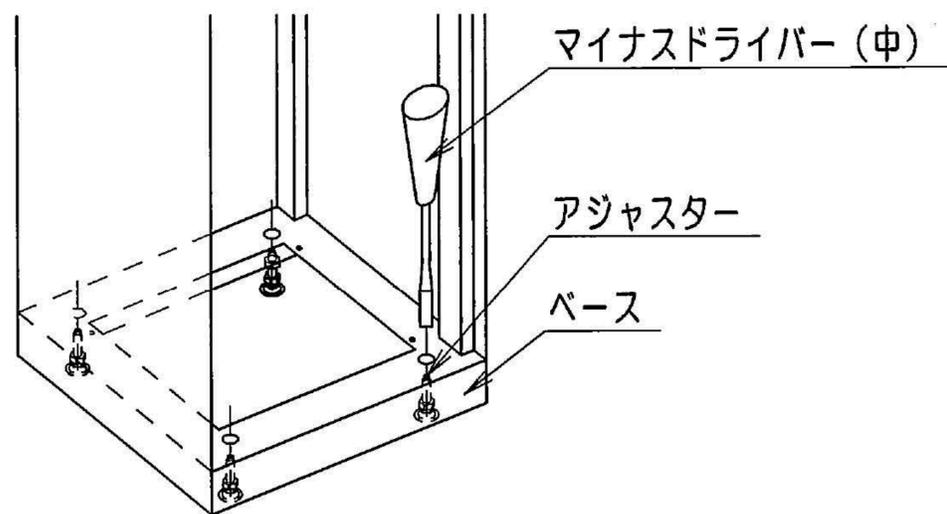
❗ 使用しないノックアウトは開けないで下さい。
水が入ってきます。

- ⑤ 最下段のベースカバーをカヌークリップと共にはずして下さい。

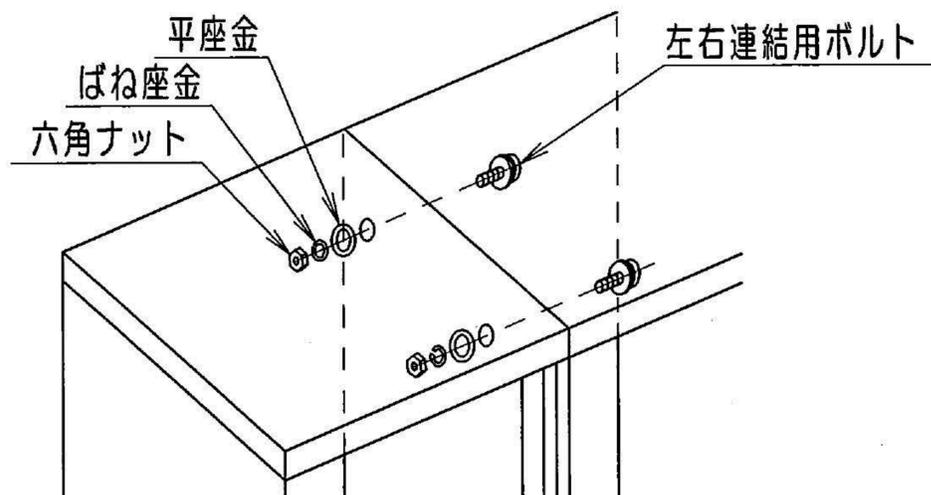


- ⑥ マイナスドライバー（中）を使い、ベースのアジャスター調整穴より、宅配ボックスが床面より10mm以上浮くようにアジャスターを回し水平を出して下さい。

⚠ 宅配ボックスを床面より浮かさない場合
底面に水や湿気が溜まりやすくなり
サビの原因になります。

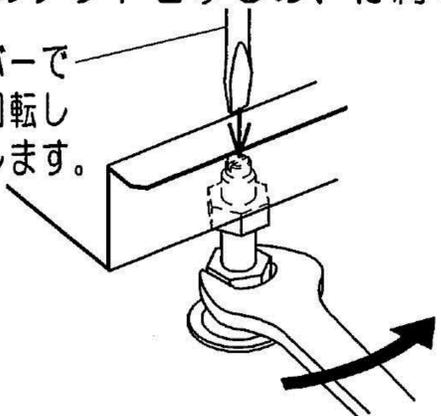


- ⑦ 2列以上ある場合は、付属の左右連結用ボルトと六角ナット、平座金、ばね座金を使い、先ほど開けた連結穴より連結して下さい。

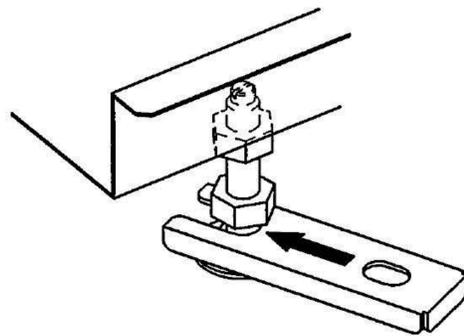
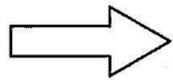


- ⑧ アジャスターのナットをゆるめ、付属のアジャスター押え金具を差し込みます。

マイナスドライバーで
アジャスターが回転し
ないように固定します。

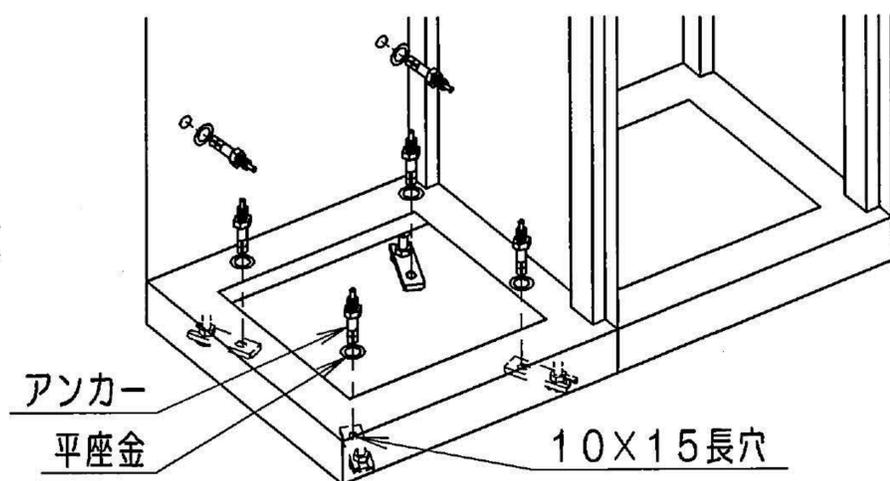
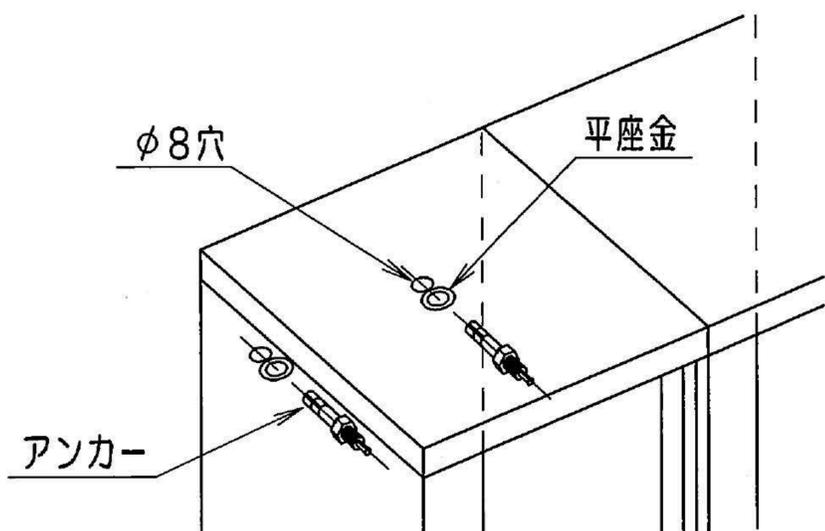


アジャスターのナットをゆるめる



アジャスター押え金具を差し込む

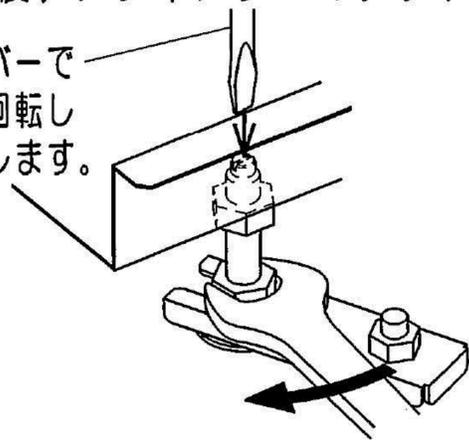
- ⑨ 背板とアジャスター押え金具の取付穴に従い、アンカーに見合った穴を開けて、アンカー（別売）を打ちこんで固定して下さい。（内部の養生をして行って下さい。）



- ❗ 必ず床面、背面ともにアンカー（別売）で固定して下さい。
壁面が新建材、石膏ボードである場合、壁面に合った適切な
アンカーを使用して下さい。

アンカー固定後、アジャスターのナットを締めて下さい。

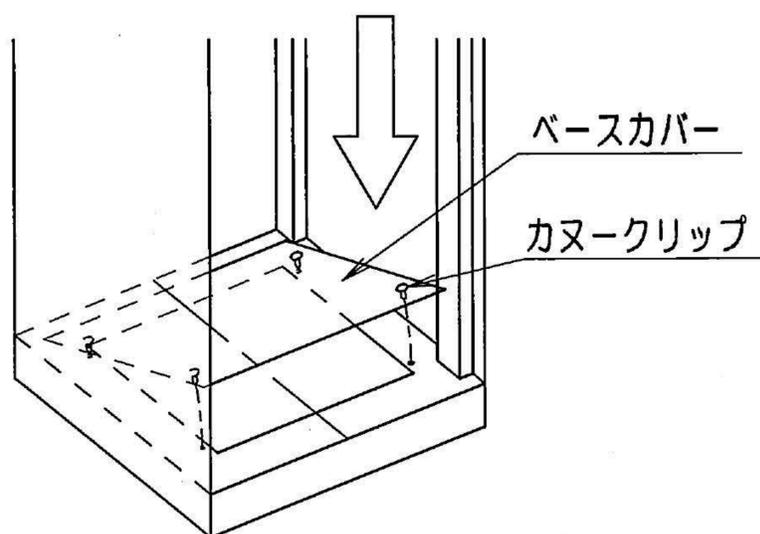
マイナスドライバーで
アジャスターが回転し
ないように固定します。



- ⑩ 本体の清掃を行ってください。

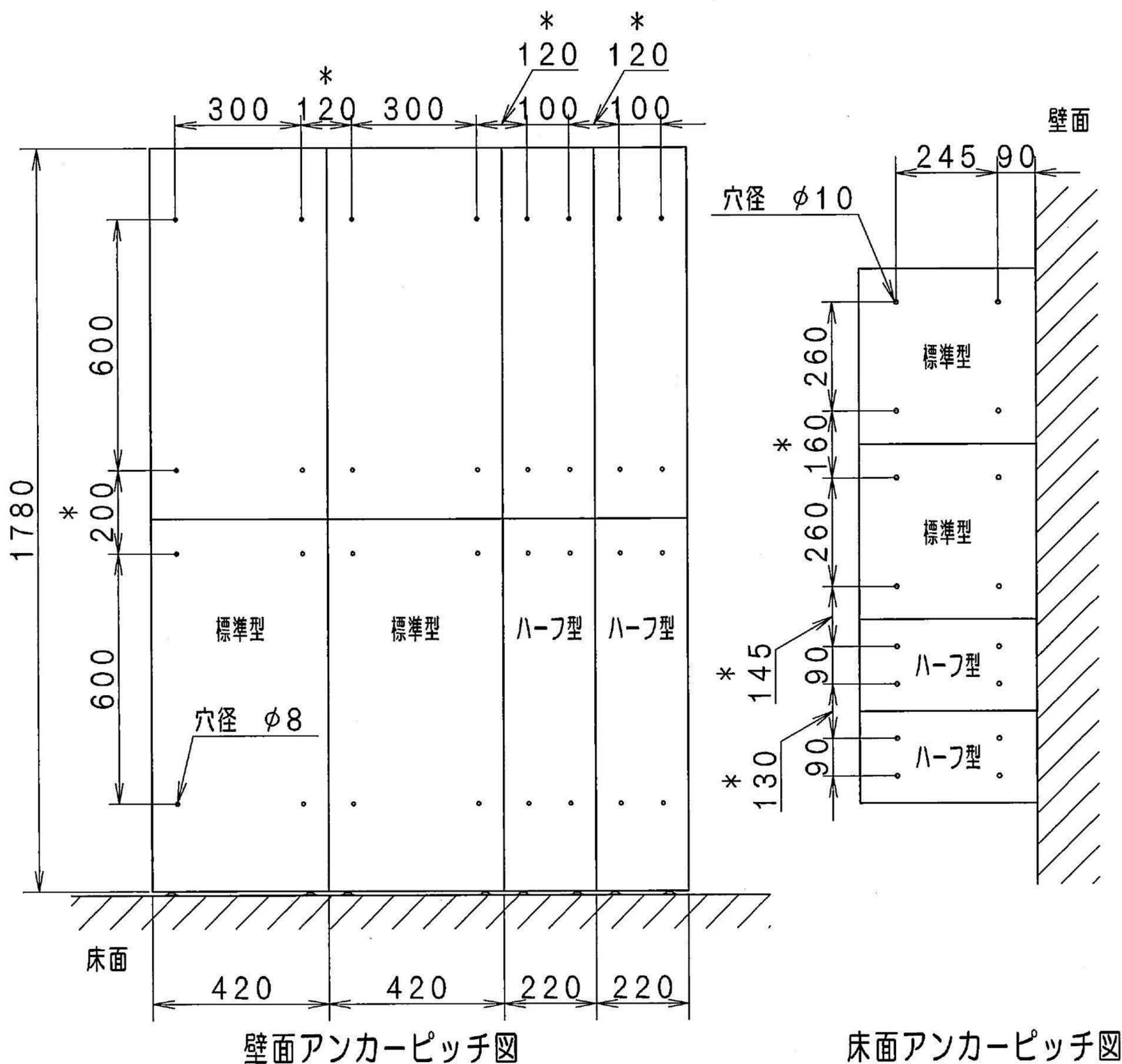
1. ホコリ及びゴミを掃除機等を使用し、吸わせて除去して下さい。
2. 柔らかい布で乾拭きして下さい。汚れのひどい場合は中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きして下さい。その後、乾拭きをして水分を完全に取り除いて下さい。ベンジン、シンナー、ミガキ粉、たわしを使って掃除することは避けて下さい。変色、キズ、塗装、剥離の原因となります。

① ベースカバーをカヌークリップと共に、ベースの穴に押し込んで固定して下さい。



<取付ピッチ参考図>

実際の施工に関しては、本体の取付穴に従い墨出しして下さい。



*上記寸法には、製品本体の連結による公差は含まれておりません。